

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年 4月 1日

事業所名 ていんとうんてん

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-------------|--------------------------------|--|----|---------------|-----|---------------------------------|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 6 | 0 | 0 | 活動内容で部屋を変えている | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 5 | 1 | 0 | | 力を必要とする作業はフォローし合う。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 5 | 1 | 0 | | 現在の設備では問題点はないが聞き取りを行いたいと思う。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 5 | 1 | 0 | ミーティングを行い、情報共有を徹底している | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 4 | 2 | 0 | | アンケートだけでなく、送迎時に家族からの聞き取りを徹底している。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 4 | 2 | 0 | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 0 | 1 | 5 | | 第三者による外部評価制度導入出来るか本社と検討します。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 4 | 2 | 0 | | コロナの状況により、調整しながら行っている。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | 0 | 0 | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 5 | 1 | 0 | | 適応行動に特化したアセスメントが行えるよう努力します。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 4 | 2 | 0 | | 支援計画の情報が共有出来るようパートナー職員も含めた担当者会議にします。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 4 | 2 | 0 | | コロナ対策を適切に行いながら季節に合った行事地域との交流が図ることが出来るプログラムを考えます。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 4 | 1 | 1 | | コロナ対策をきちんと行いプールや各種スポーツ大会行えるように努力します。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | 0 | 0 | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 5 | 1 | 0 | 毎朝、児童について注意点を伝達及び担当により深く注意事項伝える | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 5 | 1 | 0 | | パート職員も含めてその日、行われた支援内容を振り返ることが出来る体制に努めます |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | 0 | 0 | 注意点、体調の変化等記録を取り職員全員に伝達する様にしている | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 6 | 0 | 0 | | |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | 5 | 1 | 0 | | | |

| | | | | | | | |
|--------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 6 | 0 | 0 | 管理者が中心となっていますが、担当者も会議参加できるようにします。 | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 6 | 0 | 0 | LINEを上手く活用し連絡を密にしている。 | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 5 | 1 | 0 | 定期受診の結果の聞き取りをしている。 | 協力医との連携、利用者様の主治医との連携が出来るよ面談の機会を作ります。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 4 | 2 | 0 | 気になることがあれば電話で聞き取りをする。 | どうすれば就学前に利用していた事業所と関係が作れ情報共有できるか話し合います。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 3 | 3 | 0 | | 必要に応じて今後も連帯事業所と情報共有して参ります。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 3 | 2 | 1 | | コロナで研修が無くなっていますが、専門研修が再開されたら以前のような受講を予定しています。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 0 | 2 | 4 | | コロナで交流が途絶えています但对策をきちんと行い交流を再開したいです。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 0 | 4 | 2 | | 参加した内容を職員間で共有できるように努力します。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 5 | 1 | 0 | | 今後も、状況や課題を共有し支援が継続出来るように努めます。 |
| 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 0 | 4 | 2 | | 職員一人一人がペアレントトレーニング理解出来るように勉強会などを実施したいと思います。 | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 6 | 0 | 0 | | 通常管理者で行っている業務ですが職員も理解把握できるよう勉強会を実施します。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 6 | 0 | 0 | | 今後も、相談支援事業所とも連携して、拡充に努めます。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 0 | 2 | 4 | | 保護者同士の交流会は中々実施できません次年度出来るよう計画します。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 6 | 0 | 0 | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 5 | 0 | 1 | | オリジナルの通信を活用していますがより充実した内容を出来るように工夫します。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 5 | 1 | 0 | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 6 | 0 | 0 | | 今後も、相談支援事業所と連携して、配慮出来るよう努めます。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 2 | 2 | 2 | | コロナで招待できない状況ですが落ち着いたきたら地域と交流を行いたいです。 |

| | | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|---|--|-----------------------------|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 4 | 1 | 1 | | 周知徹底出来るように定期的に訓練します。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 3 | 2 | 1 | | 避難訓練の実施だけでは無く、災害訓練も取り入れます。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 4 | 1 | 1 | | 毎年、虐待に関する勉強会を行います。今後も継続します。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 5 | 1 | 0 | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 5 | 0 | 1 | | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 6 | 0 | 0 | | |

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和5年 4月 1日

事業 ていんとんてん

保護者等数(児童数)

10 回収数

割合

90 %

| | チェック項目 | 評価 | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|-------------------|---|----|---------------|-----|-------------------------|---|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | | |
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 7 | 2 | 0 | ピアノが弾ける部屋もあり運動スペースも十分です | いつでも見学できることを伝え活動内容で部屋を変えていると説明した。 |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 7 | 2 | 0 | | 役割や専門性について保護者に伝える。 |
| | 3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 5 | 4 | 0 | | 利用には問題ない設備でいつでも見学できることを伝える。 |
| 適切な支援の提供 | 4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか | 8 | 1 | 0 | | 保護者から意見、情報を集め支援内容を見直している。 |
| | 5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか | 7 | 2 | 0 | | 季節の行事や施設の行事など積極的に取り組んでいます。 |
| | 6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 3 | 5 | 1 | | 感染対策へのご理解ご協力を声かけ行う |
| 保護者への説明等 | 7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 7 | 1 | 1 | | 保護者には積極的に声掛けし話し合う機会を設けています。 |
| | 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 9 | 0 | 0 | | |
| | 9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 8 | 1 | 0 | | モニタリング時に助言等をおこない、必要があれば、面談時間を設けています。 |
| | 10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 1 | 4 | 4 | | 感染対策へのご理解ご協力を声かけ行う。 |
| | 11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 6 | 2 | 1 | | 苦情が出た場合すぐに謝罪し迅速に改善し対応している。 |
| | 12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 9 | 0 | 0 | | |
| | 13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 8 | 1 | 0 | | LINEなどツールを活用して情報共有を工夫します。また、毎月の活動を月だよりを配布しています。 |
| 14 個人情報に十分注意しているか | 8 | 1 | 0 | | | |
| 非常時等の対応 | 15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 4 | 4 | 1 | | マニュアルの説明は口頭や連絡帳で行っています。 |
| | 16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 1 | 7 | 1 | | 避難訓練だけではなく災害に対しても備えられるよう対策します。 |
| 満足度 | 17 子どもは通所を楽しみにしているか | 9 | 0 | 0 | | |
| | 18 事業所の支援に満足しているか | 8 | 1 | 0 | | 保護者からの情報、意見を迅速に対応していきます。 |

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。